

科目名	地域と歴史
単位数	2単位
担当者	尾崎 泰弘
授業種別	講義科目

サブタイトル	飯能市域の歴史と文化			
授業内容	この授業では、大学の所在する飯能市の歴史を取り上げます。具体的には、考古学、歴史学それぞれを専門とする学芸員が飯能市域の様々な歴史について講義します。この講義で学んだ地域の歴史を知ることの意味は、みなさんの出身地でも適用して考えることができるようになります。			
アクティブ・ラーニングの要素	調査学習・フィールドワーク／リアクションペーパー			
到達目標	私たちの身の回りにある何気ない風景や地域の行事などはすべて歴史的な所産といえます。こうしたものを深く観察することで地域の成り立ちを知り、それが現在につながっていることが理解できます（言語処理力 情報収集力 論理的・多面的思考力）。こうした観察する力を鍛えることで、現在の地域社会の課題について考えられる力を養うことを目標とします（論理的・多面的思考力）。			
到達目標となる駿大社会人基礎力	①言語処理力／③情報収集力／④論理的・多面的思考力			
卒業認定・学位授与方針との関連	この科目は、ディプロマ・ポリシー（全学部）の「(1)基礎的な力」、「(2) 考える力」と関連しており、さまざまな角度から物事を見つめ、広い視野から筋道を立てて考える力を養います。			
関連科目	歴史学 A / 歴史学I、歴史探訪、日本史概論A/日本史概論I・日本史概論B/日本史概論II			
テキスト・参考書等				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
飯能市立博物館常設展示ガイドブック	飯能市立博物館	－	－	参考書、メディアセンターで閲覧可
掘り起こせ！地中からのメッセージ	飯能市教育委員会	－	－	参考書、メディアセンターで閲覧可
授業外における学習方法及び必要な時間	授業の内容を理解し、関連することを文献やインターネットを使って深める（4.0時間）			
成績評価方法				
評価方法	評価割合		成績評価基準等	
授業の参加度	15%		授業への参加度を評価する。	
コメントペーパー	45%		授業内容をどこまで理解しているかをみる。	
レポート	40%		与えられた課題に対し具体例を挙げて論述できているかどうか。	
課題に対するフィードバックの方法	レポートの全体的な所見をMoodle上で伝えます。			
実務経験のある教員による授業科目等				
担当教員の実務経験		実践的な教育の取組		
博物館学芸員や文化財担当者として、地域の歴史・文化を研究し、その成果を市民に伝えてきた。		地域史料や文化財などに基づいた豊かな地域の歴史像を解説する。		
授業計画				
第1回	イントロダクション：講義の概略、成績評価についてなど			
第2回	考古学から地域を知る（考古①）			
第3回	発掘調査からわかる飯能の歴史①「旧石器時代から縄文時代」（考古②）			
第4回	発掘調査からわかる飯能の歴史②「縄文時代から弥生時代」（考古③）			
第5回	発掘調査からわかる飯能の歴史③「古墳時代から奈良・平安時代」（考古④）			

第6回	宗教に関する事物より地域の歴史を考える（宗教と地域の歴史①）
第7回	お札(護符)の分析～神仏に対する人々の願い～（宗教と地域の歴史②）
第8回	近世武家の墓所～智観寺　水戸藩付家老中山家墓所・能仁寺　久留里藩主黒田家・旗本中山家墓所～（宗教と地域の歴史③）
第9回	飯能の山岳信仰～子ノ権現・竹寺・高山不動・岩殿観音～（宗教と地域の歴史④）
第10回	飯能市街地の成り立ち～飯能縄市～（歴史①）
第11回	飯能で起こった戊辰戦争～飯能戦争～（歴史②）
第12回	西武池袋線の始まり～武蔵野鉄道の開通～（歴史③）
第13回	飯能市立博物館の見学（レポート）
第14回	飯能の災害史（歴史④）
第15回	まとめ
第三者チェック①	私たちの身の回りにある何気ない風景や地域の行事などはすべて歴史的な所産といえます。こうしたものを深く観察することで地域の成り立ちを知り、それが現在につながっていることが理解できます。こうした観察する力を鍛えることで、現在の地域社会の課題について考えられる力を養うことを目標とします。 ↓ 私たちの身の回りにある何気ない風景や地域の行事などはすべて歴史的な所産といえます。こうしたものを深く観察することで地域の成り立ちを知り、それが現在につながっていることが理解できます（言語処理力　情報収集力　論理的・多面的思考力）。こうした観察する力を鍛えることで、現在の地域社会の課題について考えられる力を養うことを目標とします（論理的・多面的思考力）。 （2025年2月4日　竹内）→（2025年2月10日　竹内）修正確認
第三者チェック②	
第三者チェック③	